

平成 27 年度第 2 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 27 年 4 月 22 日（水）9:00～9:20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 広聴広報アクションプランについて

●中山課長【広聴広報課】（資料 1 に基づき説明）

プランに基づく 27 年度を取組と進捗状況を報告する。

広聴広報課が部局の「ハブ」として政策と広聴広報活動を一体的・戦略的に総合調整し、組織横断的にマネジメントできるよう外部専門家のノウハウを活用することや、本県の認知度・イメージアップを図るプロモーション展開、広聴広報戦略会議の設置運用、メディア別の取組など、全庁一体となった取組を展開する。

●竹内戦略企画部長

プランの推進については、27 年度が実質の初年度となる。県のさまざまな情報発信が、県民の皆さんにきちんと伝わるよう改善をしていくのでよろしく願いたい。

☆加藤病院事業庁長

消費喚起にかかるプロモーション展開について、夏休み戦線に向けた具体的な内容は。

●岡本課長補佐兼班長【広聴広報課】

本日から、消費喚起事業を実施する関係所属とのワーキングを発足する。

既に取組を進めている事業もあるが、広聴広報課として、これらの消費喚起の取組を一体的に効果的に紹介していく取組を展開していきたいと考えている。

そのプロモーションを夏休み戦線に間に合わせていきたい。

☆加藤病院事業庁長

消費喚起の個々の事業をプロモーションするということか。

●岡本課長補佐兼班長【広聴広報課】

個々の事業をプロモーションしていく。

☆西城子ども・家庭局長

ソーシャルメディアの積極的な活用について、現時点で、今年度どこまで実施するといったスケジュール的な見通しはあるか。

●岡本課長補佐兼班長【広聴広報課】

まだ詳細は決まっていない。戦略広報アドバイザーと調整しながら全庁展開をどう図ってい

くか検討していきたい。

☆石垣副知事

県の情報発信については、鈴木県政の1期目の4年間で相当進歩したと思っている。2期目に向けてさらにバージョンアップするため、戦略的に実施していく。広報戦略をすすめる中で、いろいろな媒体をうまく組み合わせて、何が最適なのかなど、広聴広報課と一緒に各部も一生懸命考えて欲しい。

今回、素晴らしい外部人材に支援をお願いすることとなった。

行政機関で相当な経験も積まれており、各部局には是非積極的に活用してほしいので、広聴広報課はリーダーシップを発揮してほしい。

☆鈴木知事

今、各部局で実施しているソーシャルメディアの取組には、どう考えてもリツイートされない内容しか投稿されていないものもある。

アードメディアとは信頼や評判を得るメディアであるわけだから、そのような内容にしてほしいと思う。

外部アドバイザーについては、信頼される人にはなってほしいが、好かれる必要はないと伝えている。

質が高くなって県民の皆さんに喜ばれる、愛される広報になってほしいと思うので、アドバイザーには厳しいことを言われるかもしれないが、各部局は逃げることなく活用してほしい。

議題2 第21回生命の駅伝に係る募金協力について

●佐々木健康福祉部医療対策局長（資料2に基づき説明）

がん研究を支援するための募金活動とがん研究の重要性の啓発目的にて、5月15日（金）より5月24日（日）の間、県内8コースで実施。

県職員の募金への協力について、今年度もよろしく願います。

また、5月22日（金）には植田副知事が県庁でランナーを出迎え、激励の挨拶及び募金の贈呈を行うため、都合のつく方には県庁玄関前での出迎え及び激励をお願いします。

（質疑なし）

議題3 平成27年度職員行動指針「五つの心得」及びコンプライアンスに関する放送について

●安井課長【企画課】（資料3に基づき説明）

昨年度に引き続き、本年度も、職員行動指針「五つの心得」及びコンプライアンスについて、効果的に周知を行い、継続的に職員に注意喚起を図るため、庁内放送を実施する。

毎週異なる内容で放送を行うことにより、職員に対して放送内容を強く意識することを促すとともに、顔の見えるメッセージ性を重視するため、知事、副知事、危機管理統括監及び部局長から自身の体験を交えて語っていただきたい。

放送計画のとおり、4月27日から隔週の月曜日（休日の場合は翌日）の午前8時30分に、各回のテーマに沿って放送する。（質疑等なし）